まちのわだい

自然の神秘を満喫

内間木洞まつり　7月９日

1／歓迎の餅まき大会　**2**／ステージで神楽を披露する中村榛さん　**3**／ラインクライミングを楽しむ児童　**4**／まめぶやイワナの塩焼きなど小国自慢の郷土食を販売　**5**／鍾乳石が連なり圧巻の造形の内間木洞

県指定天然記念物の内間木洞は、国内屈指の全長を誇る鍾乳洞で２月と７月の１日のみ一般を対象とした無料開放を行っています。９日の開放日には県外ナンバーも多く見られ、長い年月をかけ自然が造形した神秘的な景観を堪能しました。

来場者に楽しんでほしいと小国自治会が、豆腐田楽や十割手打ちそばなど自慢の郷土食を販売。餅まきやステージ発表で、イベントを盛り上げました。

戸呂町神楽を披露した山形中学校１年の中村榛（しん）さんは「内間木洞はコウモリや氷筍など魅力あふれる場所。訪れた人に、神楽も知ってもらえるよう自分の力を出しました。ここからたくさんの人に広がるならうれしく思います」と笑顔で語りました。

夏、始めました

侍浜海水プール開き　7月16日

侍浜海水プールと舟渡海水浴場は８月31日まで利用可

侍浜海水プールが海開きの初日、イベントを実施。景品付き餅まきや海産物販売などが行われ、夏の到来を楽しみました。初めて訪れた小久慈小学校４年生の中村瑠唯さんは「冷たかったけど、においやしょっぱい水が海に来た感じがして楽しめました」と笑顔を見せました。

湾口防波堤の役割を学ぶ

久慈港湾口防波堤見学会　7月19日

国土交通省東北地方整備局釜石港湾事務所の職員が役割を解説

山形小学校の５、６年生14人が防波堤や潜水士の潜水実演を見学。防波堤が自然災害から命や街を守るために整備されていることを学びました。６年生の澤口朋花さんは「湾口防波堤は街を守るもので、さまざまなことに役に立っていることがわかりました」と目を輝かせました。

待望のワイヤレスアンプ整備

共同募金委員会助成事業交付金を活用　７月４日

シニアスポーツ大会の応援部門で最優秀賞を獲得

夏井シニア軍団が、健康維持や親睦交流を目指す生きがいづくりの福祉活動として、助成事業を活用しワイヤレスアンプを整備しました。いきいきシニアスポーツ大会の競技や応援部門のダンスの指導などに威力を発揮。出場者は大きな自信を持ち大会に臨みました。（梅沢）

小久慈朝市でにぎわいと交流

第20回小久慈朝市（16店）開催　7月９日

あいさつする鹿糠会長と開会宣言の小久慈プレイヤーズ

小久慈朝市を旧長内中学校で開催し、約320人が来場しました。玉子や商品券、タルトが当たる抽選会を実施。新鮮な野菜やじゅうね串餅、小久慈焼など買い求める客や自家焙煎コーヒーを楽しみながら「あーしばらく」と交流を深める人たちでにぎわいました。（大久保）

梅沢　政隆
リポーター

大久保勝男
リポーター

木のぬくもりを感じる店舗

県が木使い宣言事業者登録書を交付　6月27日

リニューアルした店舗の前で関係者らがテープカット

県産木材を使用し建設したローソン川貫店㈱らいおんに、県が「木づかい宣言」の登録書を交付しました。民間企業に県産木材の利用を促しているもので、東北地方のコンビニとしてはローソンが初めての登録です。久慈地産の杉も使用され、ぬくもりある店舗となっています。

４年ぶりの通常開催

令和５年度久慈市消防団特別点検　6月25日

機敏な動作で操法訓練を披露

特別点検が行われ、消防団員は規律訓練や操法訓練など日ごろの成果を披露。防災の一環として炊き出し訓練も実施しました。久慈小学校３年の櫻庭悠馬くんは「訓練を見てかっこいいと思いました。出掛ける時は火事にならないように、注意します」と思いを語りました。

立ち直りを支える社会に

”社会を明るくする運動”内閣総理大臣メッセージ伝達式　7月３日

市長に大臣メッセージを伝達する一日保護司の５人

一日保護司に任命された宇部中学校の生徒５人が久慈地区保護司会らと市役所を訪問し、市長に大臣メッセージを伝達。代表して中野愛子（あいね）さんが、生きづらさを抱える人や再出発を図る人を受け入れる社会を目指し、犯罪や非行の防止と立ち直りを支援する大切さを訴えました。

歴史のバトンをつなぐ

久慈小学校創立150周年記念式典　6月29日

児童を代表してあいさつ

久慈小学校が６月１日に創立150周年を迎え、桜とあじさいの記念植樹や記念歌の合唱などを行いました。執行委員長の長瀬花凛さんは「学校生活を送ることができるのは、見守ってくれる皆さんのおかげです。感謝を忘れないことを伝えていきたいです」と思いを語りました。

癒しのひととき

べっぴんグルマンフェスタ　７月８・９日

屋外に特設フードコートを設置

新山根温泉べっぴんの湯が、特設フードコードで軍配餅や田楽などの特産やオリジナルメニューなどを販売しました。二戸から訪れた竹駒こずえさんは「湯冷めしないつるつるの湯が好きで、修繕前から利用しています。特設会場もゆっくり見たいです」と笑顔で語りました。

地元企業への理解を深める

令和６年３月新規高等学校卒業予定者を対象とする求人説明会　７月４日

生徒に説明を行う事業者

市は、久慈公共職業安定所などと共催で、来年の春に高校を卒業する生徒を対象とした求人説明会を開催しました。久慈管内の36事業所が参加し、生徒107人に対して自社の事業の内容や働きがいを説明。生徒らは真剣なまなざしで説明を聞き、地元就職への理解を深めました。

八木沢万寿美
リポーター

小渡　正利
リポーター

大石　純夫
リポーター